

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第45週（令和7年11月3日～令和7年11月9日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

インフルエンザの定点当たり報告数が12.80となり、従前の注意報レベル（今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いとされる基準値：1 定点医療機関当たりの報告数10）を超えましたので、本日注意報を発表しました。本疾患の定点当たり報告数は、前週と比較して1.51倍に増加しており、今後の動向に注意が必要です。

本疾患は、主に患者の咳やくしゃみに含まれる飛まつを吸い込んだり、感染者との接触により感染します。潜伏期間は1～3日程度で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。重症化すると、肺炎や脳症を起し死に至ることがあります。本疾患を疑う症状が現れた場合は、早めにかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談しましょう。本疾患と診断された場合は、外出を控え自宅等で療養しましょう。また、感染予防、感染拡大防止のため、手洗いの励行、適切なマスク着用、こまめな換気、咳エチケット等に努め、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	639	237	11,938
腸管出血性大腸菌感染症	1	249	178	3,781
レジオネラ症	2	68	45	2,073
レプトスピラ症	1	2	4	51
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	69	13	1,041
後天性免疫不全症候群	1	36	8	718
侵襲性肺炎球菌感染症	2	112	28	2,838
梅毒	6	653	159	11,765
百日咳	17	3,090	718	84,679

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	151	1.24	1.00	8,777	2.28
インフルエンザ（注意報レベル）	1,562	12.80	1.51	57,424	14.90
急性呼吸器感染症	7,750	63.52	0.95	307,447	80.02
RSウイルス感染症	95	1.36	0.72	2,821	1.21
咽頭結膜熱	33	0.47	0.87	612	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	281	4.01	0.98	5,104	2.18
感染性胃腸炎	311	4.44	0.96	8,946	3.82
水痘	15	0.21	0.79	493	0.21
手足口病	38	0.54	0.97	482	0.21
伝染性紅斑（警報レベル）	74	1.06	0.73	1,902	0.81
突発性発しん	28	0.40	1.12	559	0.24
ヘルパンギーナ	14	0.20	1.00	387	0.17
流行性耳下腺炎	5	0.07	1.67	81	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	5	0.01
流行性角結膜炎	47	1.81	1.21	593	0.86
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	27	0.06
マイコプラズマ肺炎	17	1.13	0.74	701	1.46
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00